

令和6年度 学校関係者評価

1 評価方法

令和6年度の学校関係者評価は、学校運営評価（学校職員評価）の評価表により8区分25項目について、4段階評価で行った。（4：十分に満たしている、3：満たしている、2：改善の余地がある、1：改善が必要）

2 学校運営評価結果

評価区分	主な評価項目	評価結果
I 学校経営	組織目標の策定、コンプライアンス、組織全体のチーム力（3項目）	3.2
II 教育課程・教育活動	教育目標の明示・分析、教育内容の一貫性、体系的カリキュラム運営、授業・実習評価の公平性・妥当性、実習時の安全体制（5項目）	3.5
III 学習成果	単位取得への支援、国家試験対策、退学率の低減（3項目）	3.5
IV 入学・卒業対策、就職・進路支援	入学応募者確保、就職・進路支援、卒業生への支援（3項目）	3.4
V 学生生活への支援	学業継続支援、学生の自主的な活動への支援、学生意見の反映（3項目）	3.3
VI 財政、施設設備の管理	適正な予算の執行管理、非常時の危機管理体制、施設設備・教材の安心・安全、学習の場の確保（4項目）	3.4
VII 教職員の能力向上	看護教育力向上への努力、能力向上に対する支援（2項目）	3.3
VIII 広報・地域活動	学校PRの広報活動、地域社会の一員としての貢献（2項目）	3.1

3 学校関係者評価で寄せられた意見（要約）

- ・学校経営について、自己評価が低いことの分析と対策を期待します。
- ・入学・卒業対策、就職・進路支援に向けた職場の取り組みは理解するが、結果として反映されていないケースがある点が残念である。
- ・学生生活への支援については、コロナ前のように学生の自主的な活動を支援していくのが望ましい。
- ・少子化に加えて18才人口の減少や大学志向もあり、受験者数減少の中で、より一層の努力を期待しています。
- ・入試の見直しや学校間での入学希望者のやりくりなど対策を実施されているが、応募者の減少が続くようであれば、学校単体での努力、取り組みにも限界があるように感じます。